

## 2014(平成26)年度 海外留学体験報告書

留学先 釜山外国語大学(韓国)

文芸学部 文学科

### 1. 留学中の活動詳細について

韓国は3月から6月が前期、9月から12月が後期という日本の大学とは違う制度でした。私は2月28日に韓国に到着しました。飛行機が予定の時間より遅れてしまって、本来は釜山外大のバスで学校の寮まで行く予定だったのですが、迎えに来てくださった釜山外大の国際交流室の先生と一緒にキメ(金海)空港からタクシーに乗って、学校の寮まで行きました。寮についてからは、国際交流室の先生と一緒に、入寮手続きをしました。お金はその時に払わず、後日に銀行振り込みでした。韓国に着いて最初の2日間が土日だったので、釜山外大の周りに何があるのか散策してみたり、部屋に足りないものを買に行ったりしていました。釜山外大はちょうど2014年から新キャンパスとしてナムサン(南山)に移動したばかりだったので、Wi-Fiなど設備が整っておらず、最初はとても不便でした。携帯は韓国で買わずに、日本のものをデータローミングを切った状態で、Wi-Fiがあるところだけでしか使えなかったのが、部屋で携帯を使えるようにWi-Fiのルーターを買いました。

土日も終わり、いよいよ学校が始まりました。初日はレベル分けテストを行いました。筆記と5分程度の会話がありました。そのあとは今回来た日本人留学生を集めて、オリエンテーションが行われました。簡単な講義の説明や、受講申請、生活についてなどの説明を聞きました。前期の受講申請は国際交流室の先生と一緒に行いました。学校が始まって最初の1週間は、銀行口座の開設や外国人登録証を作りに行きました。授業も日本と一緒に、最初の1週間は受講変更期間で、自分が受けたい授業を自由に受けに行っていました。

私たち交換留学生は、19単位まで授業を取ることができました。韓国語文学部の外国人用の授業から取りました。前期は「会話と表現」、「読解と理解」、「実用韓国語文法」、「課題と作文」、「実務韓国語演習」、「日本語韓国語Tandem学習」の計6個を取りました。1つ3単位なので、全

部で18単位でした。後期は「実用韓国語文法」、「話法と意思疎通」、「映画の中の韓国語」、「文化間意思疎通の理解」、「TOPIK中級」、「TOPIK高級」、「日本語韓国語Tandem学習」の計7個を取りました。TOPIKの授業が2単位で、それ以外は3単位だったので、全部で19単位でした。前期は必修科目を多く取りました。後期は文化の授業や、11月に受けるTOPIK試験に向けて、TOPIK対策の授業を中心に取りました。文法の授業では、基本的に先生の文法の説明を聞いて、練習をするという流れでした。会話の授業は、グループワークが多かったです。違う国の学生とペアになったり、同じグループになったりして、お互いの国のことを話し合ったり、発表したりしました。韓国の授業では、パワーポイントを使って発表を行うことが多かったです。Tandem学習というのは、日本語学部の韓国人学生とペアになって行う授業でした。日本人は韓国語で、韓国人は日本語で、各週テーマを決めてそのテーマについて話し合いました。体験学習というのが1度あって、一緒に外に出て文化体験をしたりもしました。

生活面に関しては、寮について説明しようと思います。釜山外大の寮は、警備が厳重で、玄関に駅の改札のようなものがあります。そこは部屋のカードキーをかざして通過することができます。玄関は4時から24時まで開いています。寮は管理人と学生の人たちが運営しています。点呼をしたり、連絡事項を伝えたり、寮内で何かあった時はこの人たちに言って解決してもらったりします。寮の設備は、まず各部屋の中に机とベッド、タンスが2つずつあります。そしてシャワーとトイレが設置されています。自炊はできません。寮の地下1階に食堂とコンビニ、洗濯機、トレーニング室があります。食堂は朝昼晩の時間が決められていましたが、変更がたびたびあるので放送や張り紙などで確認します。値段は1食3,300ウォンでした。洗濯機は1回1,000ウォンで使用できます。乾燥機もあり、同様に1回1,000ウォンです。1階には休憩室があります。そして、最初は学校自体がチキンやピザなどの配達を禁止していたのですが、だんだんといつの間にか配達できるようになっていました。寮内で配達したものを食べることは1階の休憩室だけで、部屋では寮内のコンビニで買ったもの以外は、基本的に持ち込んで食べてはいけません。寮費は前期が800,000ウォン、夏休みが〇〇ウォン、後期が700,000ウォンです。どれも銀行振り込みです。最後、退寮するときに保証金の100,000ウォンが返ってきます。

校内には、コンビニが3つ(寮を除く)、郵便局、銀行、美容室、写真撮影

所、印刷室、眼科(コンタクトレンズなどを売っています)、カフェが2つ、そしてフードコート、食堂があります。美容室はカットが7,000ウォンと日本に比べたら安いと思います。印刷は1、2枚が100ウォンでした。食堂は大体3000ウォンから5000ウォンで食べることができます。カフェは5000ウォンから7000ウォンなので、日本とあまり変わりません。

その時のレートによりますが、韓国の食費に関しては(カフェを除いて)日本よりも安いと思います。普通の文具や雑貨などは、場所によって違いますますが、日本とあまり変わりません。

授業以外の活動では、日本語を勉強している小学生と交流するボランティアをしました。月に2回活動があり、1回はスタディーで、もう1回は課外活動と一緒に映画を見たり、花瓶を作る体験学習をしたりしました。普通に生活していて、子供たちと遊ぶ機会なんてないので、この活動は本当に貴重な体験だったと思います。そして、近大にある留学生サポートと似たようなものが、釜山外大にもありました。バディープログラムというもので、外国人と韓国人がペアになって交流します。班に分けられて、班ごとにご飯を食べに行ったり、遊びに行ったりもします。

## 2. 留学の成果について

一番成果を感じたのは聞き取りです。釜山は方言があるので、地元の年配の方が話していることがまったく聞き取れなかったのですが、だんだん聞き取れるようにもなりました。話すのも最初は緊張しましたが、生活しているうちに慣れてきました。そして、韓国人の学生と交流していく中で、韓国の文化だけでなく、日本の文化についても新しく知ることができました。そして、韓国人の友達だけでなく、他の国の人とも友達になることができました。いろいろな国の文化について知ることができ、自分の考えも変わってきたと思います。韓国や韓国語に対して興味がさらに深まったとともに、他の国の文化など、自分の興味の範囲が広がりました。

留学生活では、当たり前のことですが、自分のことはすべて自分で言い、問題が起きても基本1人で解決しなければいけないので、親や兄弟、友達への感謝の気持ちをより一層感じるようになりました。語学はもちろん、精神面でも成長することができたと思います。

### 3. 反省点について

反省点というよりも、私は夏休み中ほとんど日本に帰っていました。1年という短い期間の中で、長く韓国を離れることはもったいないと思う人は多いと思います。私ももったいないと思います。やはり、離れる期間が長ければ長いほど、韓国語を忘れてしまうのは事実です。しかし、個人的な問題だと思いますが、外国で生活をしていく中でだんだんストレスがたまっていたのか、その時期はあまり韓国にいたいと思っていませんでした。別に韓国での生活が楽しくなかったとか、何か大きな問題があったわけではないのですが、その時の自分の状態を見て、少し長く日本にいて気分をリフレッシュさせようと思いました。後期の受講登録もあるので、8月後半には韓国に戻りましたが、その時にはまた韓国での生活を頑張ろうと新しい気持ちで迎えることができました。後悔はしていませんが、留學生活では、自分なりにうまくストレスを発散できる方法を見つけることも大事だと思いました。

### 4. 海外留学を目指している学生へのアドバイスについて

留学をする上で、一番不安なのは語学だと思います。聞き取りと話すのは、正直慣れだと思っています。どれだけネイティブの人と関わって、会話するかで、実力は伸びると思います。そこで、留学に行く前に1つでも多くの単語や会話表現などを知っていたら、大きく役に立つと思います。現地の人と会話をするのに、単語は知っていれば知っているほどいいと思います。もし、文法がわからなくても、単語を知っていればその時の状況や、身振り手振りで意思疎通はできます。文法も知っているのに越したことはないのですが、そこまで時間がなければ、単語を多く覚えることをおすすめします。勉強は、留学をすれば時間はたっぷりあります。

留学をすれば、楽しいことばかりだけでなく、大変なこともたくさんあります。行ってみないとわからないカルチャーショックみたいなことも多くあります。頭ではわかっているけど、実際に体験するのとでは、やはり衝撃が違うと思います。でもそんなときこそ、客観的に物事をみることが大事だと思いました。そして、その国に対して知るためには、積極的に自分か

ら動くことが大事です。

最初は不安も大きいかもしれませんが、自分が何を学びたくて、何を目標にしているのかを明確にして頑張れば、充実した留学生活になると思います。